

三陸沿岸道路 宮古田老道路 宮古小学校児童による現場見学会

概要

三陸沿岸道路「宮古田老道路」は、宮古市松山（宮古中央IC）から宮古市田老字小堀内（田老北IC（仮））を結ぶ延長2.1kmの自動車専用道路です。この区間は、平成23年度に事業化となりました。現道の線形不良区間を回避し、走行性が向上するとともに、各都市の連絡時間短縮による地域間交流の活性化や、流通効率化による地場産業の復興支援、救急医療施設へのより迅速な搬送による安心な暮らしのほか、災害時の緊急輸送路としての機能が期待されています。

この度、事業中の宮古田老道路において、社会科学習（復興教育）の一環として、宮古小学校の児童（38名）による現場見学会を開催いたしました。

三陸沿岸道路 宮古田老道路 宮古小学校児童による現場見学会 開催状況

開催日時：平成26年10月21日（火）10:00～

開催場所：宮古市松山～山口第13地割 地内



▲三陸沿岸道路の概要や整備効果を説明



▲橋脚を支える基礎杭工事の説明



▲大型クレーンによる杭の打ち込み作業を見学



▲大型クレーンによる作業にみんな興奮していました！



▲参加した児童から積極的に質問がありました



▲山口第2トンネル南側坑口をバックに記念撮影